

## 『私たちの動物の精霊』

～私たちの中の多くの声を振り返る～

あなたは、本当に自分が人間であると思いますか？  
いろいろな生き物が、私たちの脳裏を駆け回っています。

運命そのものが、私たちの中で叫ぶ。  
その各々が主張する。

はやぶさが、あなたの胸から空高く舞い上がるのを、感じますか？  
あなたのお腹で海の生き物が泳ぎまわるのを感じますか？

かつて、サルに頭を放り投げられる感覚を味わったことがありますか？  
また、雄牛があなたのももで、  
うめき声を上げている感覚を味わったことがありますか？

ジャングルで生きていると、  
あらゆる生き物に対処しなければなりません。  
それぞれの生き物が、大声を上げて主張する。  
それぞれの現実のために。

この修羅場を、抜け出すことができるだろうか？  
おそらく、笑い、冷静さを保ち、  
外の現象にとらわれなければ、  
可能ではないだろうか。

それは大きな理想だね。  
私たち人間は、巧みな見せかけに  
騙されやすいものだから。



パーラーテ： ハー？ これは中国とどんな関係があるのですか？

大樹： (頭を掻いて) 良い質問ですね。あの国を理解するには、このことを学ぶ必要があります。

李： これは、実際中国のことではない。だいたいテレビは、20世紀の作り話をでっち上げる優れた道具だからね。

チャリア： (うなずいて) そして今世紀、インターネットはこのでっち上げ機械の第1位に、急速になりつつある。

- T Newfields (和訳: 吉田典子)

開始: 1996年 静岡市・★ 完成: 2015年 東京

